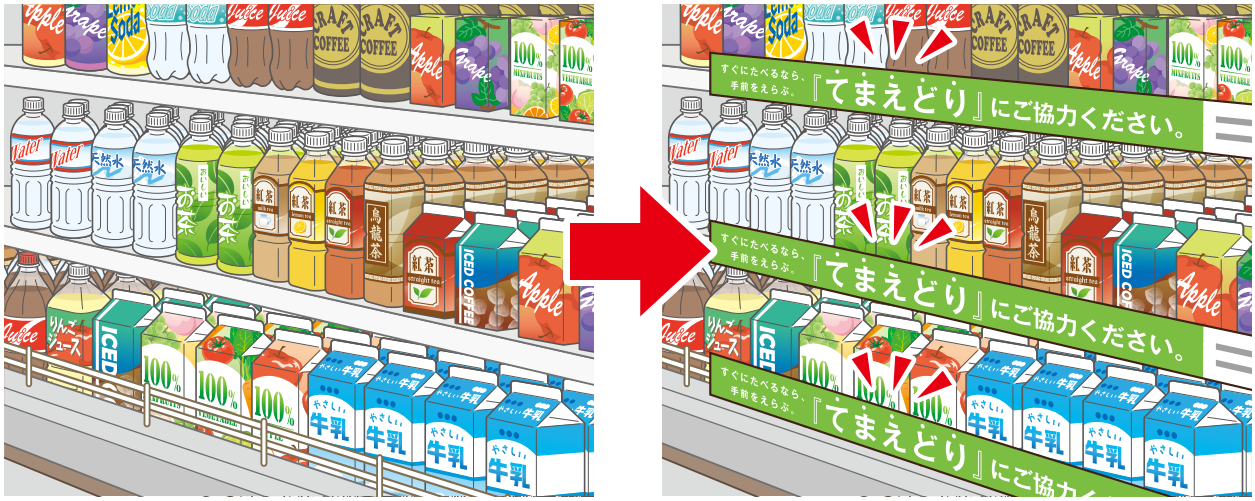
季刊 ことばを変える、社会が変わる。

名前をつけたら、フードロスが減る!?



変化前



変化後



Q なにをしたの？

A すぐに食べる食品を買う人に、棚の手前にあるものから取るようにうながすため、その行動に「てまえどり」というわかりやすい名前をつけたんだ。棚の目につきやすいところに「てまえどり」のPOPを掲示しているお店も増えているよ。みんなも見たことがあるかな？



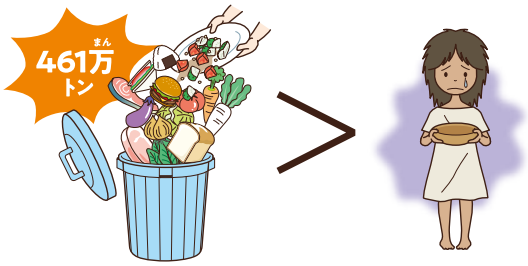
Q なんで手前の食品を取ってほしいの？

A スーパーやコンビニの食品売り場では、棚の奥のほうに、消費期限や賞味期限が先の食品が置かれていることが多いって知ってる？ そこで、目につきやすく、手に取りやすい手前のほうに期限が近い食品を並べて、お客さんにそちらから取ってもらおうとしているんだ。でも、お客さんもそのことを知っているから、棚の奥のほうから取る人が多い。その結果、期限の近い商品が売れ残ってしまうんだ。



Q どうして始まったの？

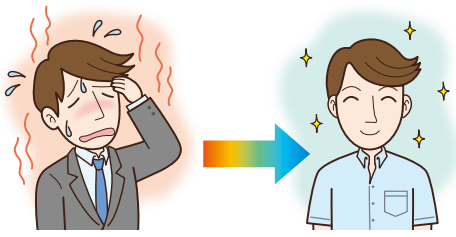
A 売れ残りや食べ残しなど、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品の量は、2024年では、なんと日本全体で年間461万トン！ これは、世界の年間食料支援量250万トンの約1.8倍にもなるんだ。食品ロスを少しでも減らすために、「てまえどり」で期限の近い食品から手に取ってもらおうというわけ。



ほかにもこんな例があるよ！

クールビズ

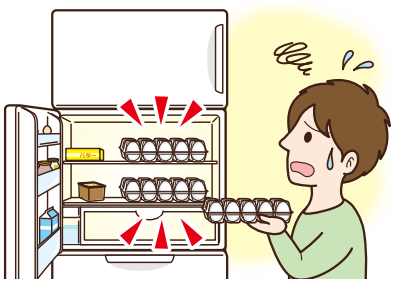
昔は、夏の暑い日でもスーツにネクタイを着用して仕事をするのが当たり前。その一方で、職場では冷房を強く効かせていたんだ。でも、それではエコじゃないよね。そこで生まれたのが「クールビズ」。ノーネクタイや半袖の服装で、夏も快適に過ごそうという取り組みだよ！



考えてみよう！

「同じものを買ってしまうこと」に名前をつけよう

夕飯にオムライスを食べたいから、スーパーで卵を買ってきた。家に帰って冷蔵庫を開けたら、卵がいっぱい！ そういえば、昨日も卵を買ったんだった…。



このように、家にあるのを忘れて、同じものを買ってしまうことってあるよね。この行動に名前をつけて、うっかり買いを防止しよう！